

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【リエゾン】

英 liaison

類 コンサルテーション・リエゾン精神医学, consultation-liaison psychiatry

【用語の解説】

「リエゾン」とは元々フランス語で、連携や連絡を意味する。

わが国ではコンサルテーション・リエゾン精神医学を省略してリエゾン精神医学や「リエゾン」と表記されることが多い。論文中の意味合いからも、ここではコンサルテーション・リエゾン精神医学について解説する。

コンサルテーション・リエゾン精神医学は、米国で提唱され20世紀初頭から稼働されてきた臨床形態である。Lipowskiによれば「臨床精神医学の一領域であって、総合病院の精神科以外の部門における精神科医の臨床、教育、研究のすべての活動を含む」と定義される広い概念である。

また、コンサルテーション精神医学とリエゾン精神医学ではその定義が異なり、それぞれの理解が重要である。前者が身体科主治医からの依頼を受けて精神科医が対応する受動的な活動であるのに対し、後者は精神科医が身体疾患のチーム医療の一員として関与する専門領域であり、より早期から、幅広く、能動的に活動する。両概念の差異の理解には、下記のGlickmanやHackettらの比喩が役立つだろう。

「コンサルテーションは火事が生じた時に駆けつけて火を消すことに相当するのに対して、リエゾンはあらかじめ火災予防のための視察をしたり、火災訓練などの教育を定期的に行うことで、火災を早期発見したり、未然に防いだりすることに相当する」

その他必要事項（本用語とつながりの深い専門分野、関連学会など）：総合病院精神医学，
総合病院精神医学会

（参考文献）

新世紀の精神科治療 4 リエゾン精神医学とその治療学, p5-7, 中山書店, 2009

LipowskiZJ: History of consultation-liaison psychiatry. Textbook of Consultation-Liaison Psychiatry, pp2-11, American Psychiatric Press, Washington DC, 1996

（国立国際医療研究センター国府台病院 精神科 佐藤 護）

本誌404pに記載